

作成日：2009年12月17日

改訂日：2024年 1月26日

製品安全データシート

整理番号：M-802

1. 製品及び製造者情報

製品名 : セハー油かためる『で・ポイ』
会社名 : 株式会社セハージャパン
住所 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-4
担当部門 : 営業部
電話番号 : 03-3525-7081
FAX番号 : 03-3525-7089
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 廃油凝固剤

2. 組成、成分情報物質の特定

区分 : 単一製品
化学特性 : 食用廃油凝固剤
成分 : 12-ヒドロキシステアリン酸
含有量 : 約85%
化学構造式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_5\text{CHOH}(\text{CH}_2)_{10}\text{CO}_2\text{H}$
官報公示整理番号 : 2-1340 (化審法)
CAS No. : 106-14-9
その他 : EINECS 2033661
国連分類及び国連番号 : 国連の基準で評価して、危険物に該当しない。

3. 危険有害性の分類

最重要性危険有害性 : 通常の使用においては危険有害性はない。
危険有害性 : 長時間高温加熱した時は引火する場合もある。
静電気のスパークで粉塵爆発の恐れもある。

4. 応急処置

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、付着した粉を出来るだけ払い落とし石鹸を使ってよく洗い流す。
皮膚に異常が残る場合は速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : こすらずに、すぐに清浄な水で眼を十分に洗浄する。
異常が残る場合は速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出し、水で口内をすすぎ、その後、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

消火方法 : 消火作業の際は風上から行い、適切な保護具を着用し、周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じて呼吸用の保護具も着用する。
消火剤 : 泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂が有効。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意 : 保護眼鏡、ゴム手袋を着用し、皮膚に付かないようにする。
漏洩した場所周辺にはロープを張るなどして、人の出入りを禁止する。
環境に対する注意 : 流出物が河川などに排出されないように注意する。
着火源から離し、スパーク及び火災に注意する。
直ちに拭き取り、空容器に回収する。

7. 取扱い上の注意

- 取扱い : 換気の良い場所で使用する。必要に応じて手洗い及び洗眼設備を設置する。状況により保護眼鏡、ゴム手袋等を利用して眼や皮膚の保護をする。
取扱い場所周辺の火気使用を厳禁する。
食品ではありませんので、食べられません。
廃油を加熱中の場合は、火災の原因となることがあるので、その場を離れない。
- 保管 : 換気の良い直射日光の当たらない室内に保管する。
比較的溫度変化の少ない涼しい場所が好ましい。
水に濡れたり、湿気が入り込まないように密閉し、屋内倉庫の換気の良い冷暗所に保管する。
-

8. ばく露防止措置

- 設備対策 : 取扱いについては、全体換気を適切に行うことが好ましい。
取扱い場所の近くに、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確にする。
- 保護具 : 保護眼鏡、ゴム手袋、保護マスク、ゴム長靴
-

9. 物理/化学的性質

- 物理的状態 : 白色から微黄色、薄片状
- 臭い : わずかに特異な臭いがある（原料臭）
- 融点 : 75℃
- 引火点 : 294℃（クリーブランド開放式）
- 高密度 : 0.47g/cm³
- 溶解度 : エタノール 約36%
酢酸エチル 約3%
メチルエチルケトン 約5%
水には殆ど不溶
-

10. 安定性及び反応性

- 可燃性 : 通常の条件では安定であるが、高温に加熱された場合は燃える可能性がある。
- 反応性 : ある程度的高温な状態の場合は、発火性、引火性がある。
-

11. 有害性情報

情報なし

12. 環境影響情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な焼却炉で少量ずつ焼却処分するか、専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

運送に際しては容器、包装、箱に洩れの無いこと確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法規

- 消防法 : 非危険物
指定可燃物（可燃性固体類）

16. その他

記載内容の取扱い : 記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

記載された注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。